

回覧

地域再生協議会だより

百合が丘 2-29-6(老人憩いの家) 59-9356(火・金午前) isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

講師謝礼 1万円に

「生涯学習」町提案 経費の自主確保の余地増す

二宮町は、懸案となっている生涯学習領域での助成についての具体案を明らかにした。年間補助限度額 20 万円、補助率 4/5 以下、講師謝礼は 1 万円まで認めるとするもので、当初案に比べ現実感が強まり、自助努力による経費確保の道をひらくものになった。再生協議会は地域交流部会、拡大部会長会議を相次ぎ開き、後継組織についての方向を取りまとめた考えだ。

町新提案のポイント

<対象団体> ・町内各小学校区において複数の地区により組織している。
・営利を目的とせず、地域住民の啓発等に寄与する、など <補助金額> ・限度額 200 千円/年
<補助率> ・補助対象経費の 4/5 以内、もしくは総事業費から当該事業の参加料を控除した額の少ない方

提案のあった(仮称)地域生涯学習振興事業補助金概要(案)のポイントは上囲みの通り。小学校区をベースにした団体が前年度中に事業案を提出し、実施年度に事業報告を出して清算する。補助対象経費は講師謝礼、印刷製本、施設賃借料など他の町民活動助成とほぼ同じ。焦点になっていた講師謝礼については 1 万円/回(現行 5 千円/回)まで認めるとしており、これらによって開催経費の持ち出しをなくせる可能性が出てきた。また、全体補助についても対象経費の 4/5、もしくは総事業費ー参加収入の少ない方——としており、経費管理の自主努力の余地が広がった。

後継組織を設ける場合は、生涯学習事業が中核にならざるを得ないと見られる。関係者の会合で今回の提案について議論したうえで、後継組織問題についての最終方針を固めることになる。

ヤマユリ公開550人、半数以上は町外



7月23日からの一色小・友情の山のヤマユリ公開(4日間)が予定通り終了した。各日とも地区内の公園愛護会メンバーが受付け、誘導を担当。4日間とも天候に恵まれ、入場者総数は過去2番目に多い約550人に達した。入場者リストを確認したところ、総数のうち306人が二宮町外からの来場だった。ほとんどが、「新聞ニュースで知った」としており、朝日、読売、

神奈川新聞で取り上げてもらったことが幸いした。別な言い方をすると、町内、一色小学校区内からはあまり来ておらず、PR、広報面でのさらなる工夫が必要なことがわかった。